

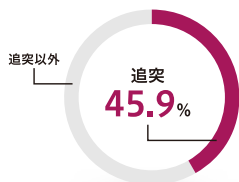
三位一体の取り組みで追突事故を撲滅

トラック輸送は日々の暮らしを支える重要なライフラインですが、その車両の大きさから万一事故を起こしてしまうと被害は甚大になりかねません。またトラックが関係する事故の5割近くが、追突といわれています。皆様の日頃からの安全対策によって事故は減少傾向にあるものの、撲滅に向けてドライバーだけでなく、管理者、事業者の三位一体で取り組まなければなりません。

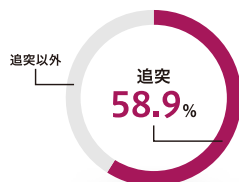
**トラック事故の半数近くを占める追突
高速道路では重大事故につながる可能性も**

**追突事故の背景には安全管理体制に関する
要因も存在**

事故類型別死傷事故件数の構成率(2021年)

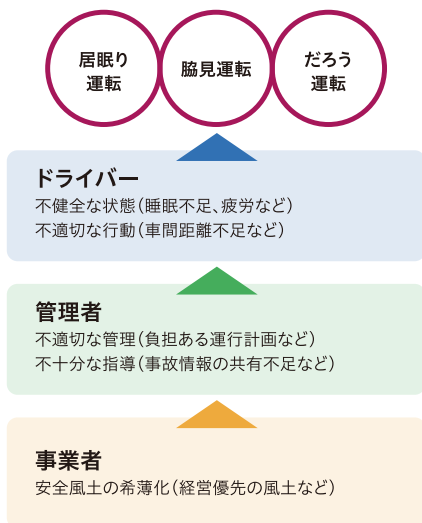


高速道路における
事故類型別死傷事故件数の構成率(2021年)



出典:公益社団法人 全日本トラック協会「事業用貨物自動車の交通事故の発生状況(令和4年9月)」

追突事故の3大要因



事故撲滅に向けて、三位一体(ドライバー・管理者・事業者)の対策を

ドライバー

●運転中の自己管理

- ・眠気や疲労を感じたら、停車して休憩する勇気を持つ
- ・渋滞などで遅延が発生しても、焦らずに管理者へ連絡する

●運転中の安全行動

- ・制限速度を順守、適切かつ余裕ある車間距離を確保する
- ・常に行く先の渋滞や故障車などの存在を見据えて運転する

管理者

●ドライバーの心身に負担とならない運行管理

- ・余裕のある運行計画の策定、健康や疲労への配慮、信頼関係の構築
- ・理解しやすい具体的な指導、ヒヤリ・ハットや事故情報の共有

事業者

●安全風土の確立

- ・トップが安全責任を持つ。また率先して行動見本を示し、現場に安全の意識・行動を浸透させる